

## 第3回 全国健康保険協会徳島支部評議会議事録

○日時：2009年10月14日（水）15時～17時00分

○場所：全国健康保険協会徳島支部 会議室

○出席評議員（五十音順 敬称略）

池上 政弘	徳島文理大学専門職大学院 総合政策研究科教授
加村 祐志	日本労働組合総連合会徳島県連合会副事務局長
勘川 一三	徳島県商工会議所連合会副会長
黒田 泰弘	徳島大学副学長
澤田 順子	徳島家庭裁判所参与
花野 靖枝	四国システム開発株式会社企画管理部長代理
村上 和行	富田製薬株式会社総務部次長

○議事次第

1. 近年の財政状況と保険料率等について
2. ジェネリック医薬品の使用促進等について
3. その他報告事項（パイロット事業の状況について、支部の事業状況について）

○議事内容要旨

1. 近年の財政状況と保険料率等について  
事務局より、決算報告について運営委員会資料に基づき説明し、意見をいただいた。
2. ジェネリック医薬品の使用促進等について  
事務局より、ジェネリック医薬品について運営委員会資料に基づき説明し、意見をいただいた。
3. その他報告事項（パイロット事業の状況について、支部の事業状況について）  
事務局より、各報告事項について資料に基づき説明し、意見をいただいた。

（主な意見の概要）

1. 近年の財政状況と保険料率等について
  - ・ 国の予算も決まっていない状況で、議論を行うのは難しいのではないかと。
  - 21年度は都道府県単位の保険料率を出したときは当初8.7%。激変緩和措置で8.24%となった。この8.24%が今年には9.0%に変わるということなのか。

(事務局) そうではなく、21 年度はベースが 8.2%でそこからの料率変更と激変緩和措置でしたが、国庫補助率等に変更がなければ、22 年度は全国平均で 9.0%がベースということになります。

- ・ 国庫補助は 16.4%ではないのですか。料率だけ上げて、補助も上げてくれないと。雇用も減ってくると思われるが…。

(事務局) 過去に 20.0%になった事例はないのですが、健康保険法では 16.4%～20.0%です。健康保険法附則で 13.0%となっています。

- ・ 毎年このような保険料率の話が出てくる訳ですよね。中期的な見通しが必要なのではないか。新政権になって新しいきちんとしたルール、枠組みを立ててもらわないとこれでは納得できない。
- ・ いずれにしても国庫補助は必ず上げて欲しい、激変緩和措置については、3 月の時点で本部にも意見を書面であげている。料率の議論とは別に、新年度になってから今まで半年間の取り組み(医療費削減等)の効果について、どれくらい効果があったか説明して欲しい。

(事務局) 効果が計れる取り組みとしては主に保健事業とレセプト点検となります。保健事業については、一年ですぐ効果が出るという訳にはいきませんが、レセプト点検効果等については、次回報告させていただきます。

## 2. ジェネリック医薬品の使用促進等について

- ・ 資料に記載のスケジュールに沿って実施していく訳ですね。資料では平成 18 年度は全国のシェアで 16.9%となっているが、徳島県としてはどれくらいのシェアなのか。また、これからは県別のデータが必要となってくるのではないか。
- ・ 私の知人では誰も希望していない。しっかり広報をして安全・安心を言っていないと、ほとんどの方がよく知らないのではないか。
- ・ このジェネリック希望カードは誰でもどこでももらえるのか。

(事務局) 現時点では、徳島県のシェアは把握できていません。カードについては、9 月の医療費通知で加入者に約 11 万通送付しております。また、各窓口等で配布も行っております。

## 3. その他報告事項 (パイロット事業の状況について、支部の事業状況について)

- ・ サービススタンダードが 7 月は全国一位ということで非常に喜ばしいことです。
- ・ パイロット事業の 1000 人というのは全部でですか。

(事務局) 対象群 (歩数計を付けてウォーキングを実施) とコントロール群 (定期的な測定のみ) それぞれ 1000 名ずつを目標としています。

- ・ 結果はいつ出るのか。

(事務局) 実施期間が 6 ヶ月間ですので、ウォーキング開始から 6 ヶ月後に結果をまとめてご報告することになっております。

## 次回評議会開催日程

- 日 程 : 未定
- 場 所 : 未定
- 議事内容予定 : 未定